

大学院 《●修士課程》

# 農学研究科

農学研究科では、応用生物科学における高度な専門知識と研究開発能力、そして本学の特色である希少糖に関する高度な専門知識と技能を備え、自然環境と調和した持続可能な社会の実現をめざす高い技術力と倫理性を備える人材を育成します。そのため、食料、生命、環境、及び希少糖に関する高度で幅広い学術分野の専門知識、自ら課題を見出し、解決に向け取り組むことのできる実践力、企業・国際・地域社会において求められる情報伝達能力と協調性を修得させます。そして、その社会的責任を自覚して国内外の広範な生物産業関連分野で活躍できる高度専門職業人を輩出します。また、本研究科にはアジア諸国を中心に20か国以上から多くの留学生を受け入れており、教育・研究等を通じて日本企業とも活発に交流しています。



## 応用生物・希少糖科学専攻

### ■希少糖先端科学コース

希少糖研究の歴史的な経緯を踏まえつつ、最新の動向を把握し、希少糖に係る基礎及び応用開発に関する高度な専門知識と技能を身に付け、これらを研究開発や産業応用の場において活用できる人材を養成しています。

### ■環境生物科学コース

里山、陸水、里海など生活・生産圏の生態系の構造と機能を理解してその保存・修復を図ることができる、あるいは、それらの環境下での生物資源生産システムを最適化して、安定的かつ持続的な生物資源の供給に寄与できる人材を養成しています。

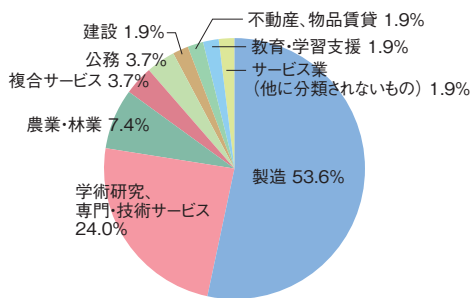
### ■生物化学・食品科学コース

化学(分析化学・物理化学・有機化学・高分子化学)及び生化学、あるいは食品科学に関する知識と手法を身に付け、健康長寿社会に貢献し、環境に配慮したグリーン社会の構築を担うことのできる人材を養成しています。

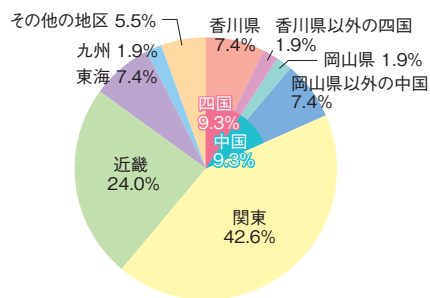
### ■応用生命科学コース

生命現象や様々な生物が作る物質の特性及び機能を、分子(遺伝子・タンパク質)レベルで解明し、利用・開発に関する知識・技術を身に付け、微生物、動物、植物の機能の高度な活用を担う人材を養成しています。

業種別就職状況  
(2020.3 修了)



地域別就職状況  
(2020.3 修了 ※進学者を除く)



出身都道府県別  
修了見込者数 (2022.3)

岡山	12
香川	11
京都	3
大阪	3
兵庫	3
その他	13
計	45 (人)

## 主な就職先

アヲハタ、イカリ消毒、井上誠耕園、上野製菓、かどや製油、カネコ種苗、鎌田醤油、義農味噌、サンアロマ、タカノフーズ、中部飼料、テーブルマーク、東洋ビューティー、日本ガイシ、日本ハム、野村不動産アーバンネット、白鶴酒造、明治、ユニ・チャーム、(一財)日本食品分析センター、(一財)阪大微生物病研究所、JAつやま、JA兵庫、宮崎県立高等学校(農業)、広島県庁 など

## 愛媛大学大学院連合農学研究科(博士課程)

### ■生物資源生産学専攻 ■生物資源利用学専攻 ■生物環境保全学専攻

香川大学、愛媛大学、高知大学の農学研究科等が連携協力して、相互に補いつつ、幅広い分野にわたって国際水準の教育研究を行い、広く社会への貢献をめざしています。大学院生の半数は海外からの留学生であり、国際交流も盛んです。既存の学問の枠組みにとらわれない、幅広い知識と柔軟な発想力をそなえた、これからの社会をリードする農学研究者を養成しています。

※農学部・大学院農学研究科および愛媛大学大学院連合農学研究科について、詳しくは <https://www.ag.kagawa-u.ac.jp/> をご覧ください。